

Would you like to think about sustainability?

そろそろ真剣にサステナブルについて考えませんか
一緒に

今回はサステナブルについて、未来について皆さんと一緒に
考えていきたいと思います。
私たち2人がくわしくお話しさせていただきます。



営業のMです。
トリアセテートの
販売をしています。

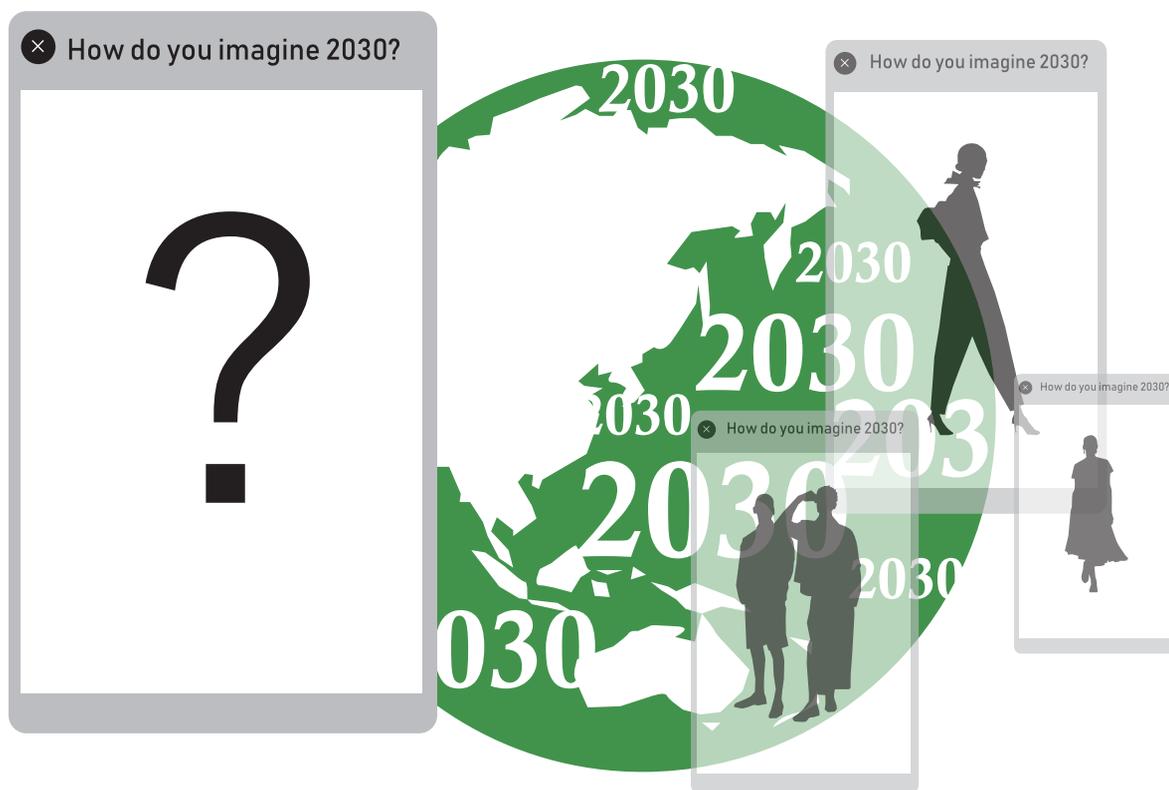


技術のYです。
トリアセテートの
糸から布、染めまで
開発をしています。

2030年の未来を、あなたはどのように想像しますか？



アパレル業界において日々関心が高まる「サステナブル」というキーワード。皆さんが思うアパレル業界でできるサステナブルな取り組みとは何ですか？具体的にそれについて考えたことがある方は意外と少ないのではないのでしょうか。



そこで今回は具体的なテーマとしてSDGsで定められた17のゴールの一つである「気候変動への対策」を取り上げ、一緒にサステナブルについて考えたいと思います。



SDGs (Sustainable Development Goals: 持続可能な開発目標) とは、2015年9月の国連サミットで採択されたもので、2016年から2030年の15年間で達成するための目標です。

SDGs に関する三菱ケミカルの取り組みについては <https://www.m-chemical.co.jp/csr/activities/index.html> を参照ください。



地球温暖化

2000年以降、地球温暖化は世界規模の問題として取り上げられております。年々、地球温暖化は進行しており、日本は亜熱帯気候に近づいてきているとも言われています。

地球温暖化とは、温室効果ガスと言われる二酸化炭素 (CO2) が大気圏に蓄積され、太陽の熱を吸収して大気を温めることが一つの要因であると言われています。

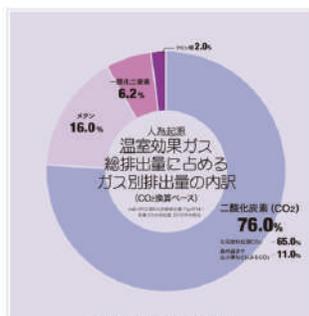


化石燃料

この主原因である CO2 排出増の最大の要因は化石燃料の使用による大気への排出です。これは世界の CO2 排出総量の約9割をも占めています。地中に存在する化石燃料を地表に掘り出しそれが焼却されることにより空気中の CO2 が純増することが大きな原因の一つです。アパレル業界においても年々この化石燃料を主原料とした合成繊維の使用量は右肩上がりに増加しております。この対策としてリサイクルポリエステルが台頭してきている背景には、原料の再利用により地中の炭素が地表に放出されることを抑制する目的があります。



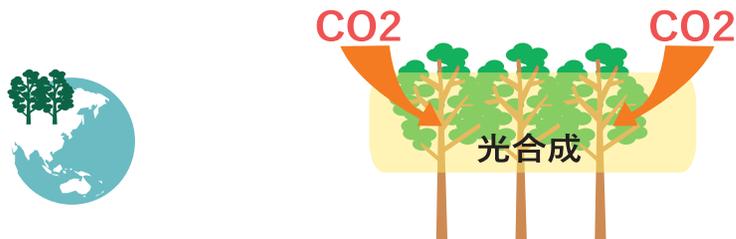
温室効果ガス総排出量に占めるガス別排出量



（グラフ上と柱状表が一致しません。出典：IPCC 温室効果ガス排出削減ガイドラインより作成）

光合成

しかし、実は地表の CO2 を、吸収し減少させる機能がこの地球上には存在します。皆さんも光合成という言葉をお聞きになったことはあるでしょう。地球上の陸地の約 3 割は森林が覆っているとされています。この森林の光合成により空気中の CO2 が吸収されています。



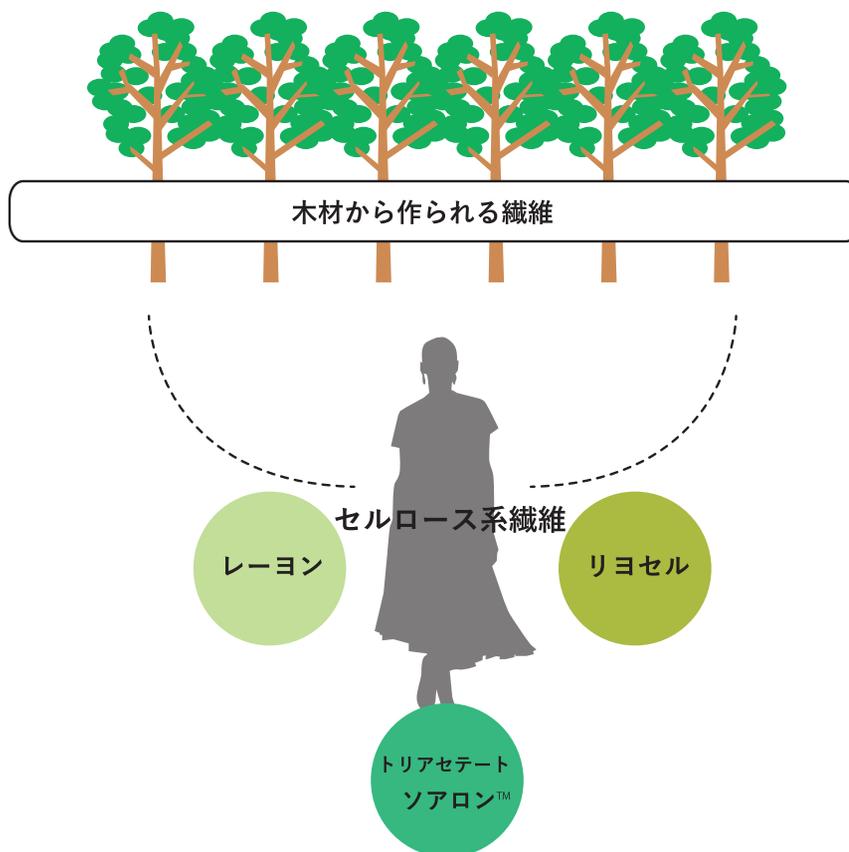
森林破壊

ただ、今この瞬間も世界中で様々な目的により無秩序・違法に伐採され、この大切な森林が破壊されています。その森林の減少率はなんと 1.2 秒にサッカーコート 1 面分とも言われています。この森林の減少によって光合成による CO2 の吸収量も減少し、地球温暖化を加速させることになっています。世界の年間 CO2 の排出量の約 1 割はこの森林伐採と土地転換によるとも言われています。



この問題に対する取り組みとして、
私たちはアパレル業界の一員として何ができるでしょうか。

レーヨンやリヨセルを始めとした木材から作られるセルロース系繊維は、
今や私たちの洋服には欠かせない原材料の中でも正にこの問題に直結する素材です。



例えば、

違法に伐採された木材を使用していない繊維を選択することも
一つの社会的取り組みです。



では、それをどのように見分ければ良いのでしょうか。
一言にきちんと管理していると言っても徹底具合は一概に同じとは
言えないし環境負荷度もバラバラで選ぶのも難しいですね。

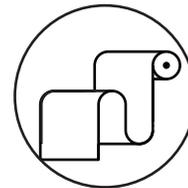
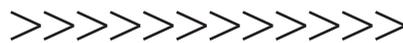
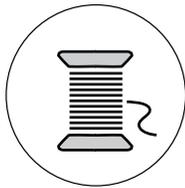


持続可能な開発とは将来のニーズを損なわないよう、現代のニーズを満たすことです。

サステナブルという言葉は、決して単なる売り文句ではありません。私たちやこれから生まれてくる子供たちの明るい未来の為、一人ひとり一社一社が今この瞬間から意識しなければいけない社会的責任なのです。

”soalon™ のサステナブルはさらに進化します”

私たち三菱ケミカルはサプライヤーと協力し、持続可能性に配慮した原料や製造方法による商品開発を探求し、促進していきます。



これまで世界では原糸レベルでのサステナブル度を数値化し、環境負荷への対策を講じてきました。

私たち三菱ケミカルは、現在、より川下の「テキスタイル」での環境負荷度分析を自社基準で設け実施、可視化することで、皆様に安心安全な素材の提供を継続していくことはもちろん、商材の一層の環境負荷度低減の取り組みをこれから実施するべく検討しております。

詳細は追って、皆様に発表させていただきます。



Go to the good future !

